北海道東川高等学校
令和４年度　学校だより　第１号
令和４年４月22日発行

校訓
美風慣行
自律創造

「東川高校での新たな学び」

校長　水　澤　弘　幸

本校に着任して２年目になります。今年度も地域の方々に支えられながら、東川町や旭川福祉専門学校等からのご支援と、町内小中学校や関係機関等との連携により、「美風慣行、自律創造」の校訓のもと、地域社会に貢献できる人材育成に努め、地域に信頼され、地域に愛される学校づくりを目指して、教育活動を展開していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校では新たに「スクール・ミッション」と「スクール・ポリシー」を策定し、これまで同様、小規模校だからこそできる個に応じた学習・進路指導の充実を図るとともに、「地域をキャンパスとした学び」を柱とした新しい教育活動を新１年生でスタートさせることとなりました。具体的には、学校設定科目「東川学」を開設し、「写真の町」を宣言している東川町の写真文化を学び、レンズをとおして「自然」や「文化」「人材」等の地域の魅力発信につながる資料を作成し発表したり、本校の特色の１つでもある「福祉教育」を継続し、「全身性障害者移動介護従業者養成研修」を受講することにより、育成を目指す資質・能力である「東川 *mind*」（福祉 *mind*、*Glocal mind*、*Challenge mind*）を培っていきます。（※第２学年でも「総合的な探究の時間」で地域について探究する時間を設けています。）

今後は、これまで以上に地域の方々との連携を深め、こうした新しい教育活動の充実を図っていきたいと考えておりますので、より一層のご支援とご協力をお願いいたします。

令和４年度　北海道東川高等学校　学校経営シラバスより抜粋

校訓	美風慣行 自律創造	良い気風、良い慣わし（美風）を実践し、生活そのもの（慣行）とする。自分でやり抜く（自律）気がまえを持ち、新しい発想、豊かな創造で、社会に貢献する人間となる。
学校教育目標	○ 他人の気持ちや考えを理解し、適切に行動する人材の育成　【美風】 ○ 自ら目標を定め、その達成に向け主体的に努力する人材の育成　【自律】 ○ 互いに高め合い、協働して社会に貢献する人材の育成　【創造】	
スクール・ミッション	○ 個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質・能力を身に付けた生徒の育成 ○ 地域（唯一）の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成 ○ 集団生活や特別活動等を通じて、自らの個性を伸長するとともに、豊かな人間性を身に付けた生徒の育成	
スクール・ポリシー	育成を目指す資質・能力に関する方針 ○ 東川*mind*の育成 1 福祉*mind*の育成 （至誠心、受容力、共感力） 2 *Glocal mind*の育成 （社会性、協働性、コミュニケーション力） 3 *Challenge mind*の育成 （主体性、行動力、創造力）	教育課程編成及び実施に関する方針 ○ 生徒が豊かな心・思いやりの心と自主自律の精神を持ち、互いを高め合う実践を推進する ○ 地域の支援を最大限に活用し、進路希望の実現を果たすとともに、地域社会へ貢献する人材を育成する ○ 個々の目標に向けた努力を支え、魅力ある教育活動を展開する 入学者の受け入れに関する方針 ○ 基本的生活習慣が身に付いており、次の両方を満たす生徒 1 高校生活に明確な目標を持ち、意欲を持って学習に取り組む生徒 2 部活動や特別活動に積極的に取り組み、入学後もそれらの活動に意欲的に
学校経営方針	◎ 生徒一人ひとりが自己実現に向けて生き生きと学び、逞しく生き抜く力を身に付けることができる学校づくりを推進する。 1 生徒一人ひとりの個性や能力を伸長させ、進路希望を実現するキャリア教育を推進するとともに、学力の定着と向上に向けた授業改善に努める。 2 地域の教育資源を活用し、活力あふれる教育活動を展開するとともに、生徒や保護者、地域の期待に応え、地域社会に貢献する人材の育成に努める。 3 本校の課題を明確にし、校内組織の活性化と教職員の学校経営参画意識の高揚を図り、協働体制を確立しながらワークライフバランスの実現に努める。	
重点目標	1 教育活動に主体的に取り組み、自分の夢や目標を大切にし、達成に向けて継続的に努力する生徒を育成する。 2 互いを認め合い高め合うとともに、自他の生命を尊重し行動する生徒を育成する。 3 基本的な生活習慣や規範意識を身に付け、自律的に行動する生徒を育成する。 4 望ましい職業観・勤労観を身に付け、社会及び職業に円滑に移行できる生徒を育成する。 5 故郷を理解し愛するとともに、グローバルな視点で物事を考え行動することができる生徒を育成する。	

「令和４年度学校経営シラバス」は、本校ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

令和４年度　入学式

４月８日（金）に令和４年度の入学式が挙行され、73名の新入生の入学が許可されました。

式では新入生を代表し、加野 真結さんが「色々なことに挑戦し、勉強や部活動に励み、人間関係を大切にしながら、人としても成長できるよう、精一杯高校生活を充実させていく」旨を誓いました。

対面式

４月11日（月）６校時、対面式が行われました。
新型コロナウイルス感染症対策のため、残念ながら、２，３年生は全員が参加できず、生徒会執行部と各部活動の代表者のみの参加となりました。
校長挨拶の後、生徒会長 寺林 誉志也 君からの歓迎の挨拶、生徒会執行部からの３年間の学校行事と生徒会活動の紹介、部活動代表者による各部活動の紹介があり、最後に新入生を代表して堀井 くるみ さんから「学校生活に早く慣れるよう努力し、勉強はもちろん、部活動や生徒会活動でもクラスメイトと協力して頑張りたい」と、お礼の挨拶がありました。

交通安全集会

４月13日（水）１校時、東川町交通安全協会会長 米田 保 様と東川駐在所長 林中 健浩 様を講師としてお招きし、交通安全集会を実施しました。
生徒会長 寺林 誉志也 君が交通安全宣言を行った後、講師の方々からご講話をいただき、交通安全に対する意識を高めました。
また、林中 様からは防犯に関する実技指導もしていただきました。

交通安全宣言

私たち東川高校生は、交通事故にあわない、交通事故を起こさないを目標に、

一 自転車の二人乗りをしません

一 道路に広がって歩きません

一 ななめ横断をしません

その他の交通ルール、交通マナーを守り、全校生徒が一つになって的確な判断と安全な行動を心掛けていくことを、ここに宣言いたします。

2022年4月13日

北海道東川高等学校 生徒会

クロスカントリースキー部　大会結果

今年の２月～３月にかけて、３つの全国大会に出場し好成績を収めました。主な大会結果は以下の通りです。

■全国高等学校スキー大会
・２年（現３年）梅澤 聡嗣　４位　10kmＣＬ

■全国高等学校選抜スキー大会
・２年（現３年）梅澤 聡嗣　９位　10kmＣＬ
　　12位　1.2kmＳＰ
・２年（現３年）藤田 心那　28位　1.2kmＳＰ

■Jrオリンピックカップ2022
　　全日本ジュニアスキー選手権
・１年（現２年）石原　徳　34位　10kmＦ

※2022スキーオリエンテーリング
　　北海道選手権スプリント
・１年（現２年）石原　徳　２位
　　【世界選手権日本代表選手に選出】

令和４年度　着任者紹介

今年度は３名の職員が着任しました。

◇末廣　聡佳　教諭（旭川商業高校より赴任）
・担当教科：商業，情報　・校務分掌：進路指導部　・部活動：バドミントン部
・ご挨拶：商業科の教員として、職業高校や併置校で３０年以上務め、この春より初めて普通高校勤務となりました。商業科で長年培ってきた知識やスキル、そしてビジネス教育の観点を東川高校に持ち込み、新たな視点で融合を起こし、生徒と共に学んでいくことが自分の仕事だと思っています。旭川市東光出身の私にとって、東川町は馴染み深い街です。一日も早く、地域に貢献できる様がんばります。よろしくお願いします。

◇増田　修子　指導実習助手（旭川北高校より赴任）
・校務分掌：進路指導部　・部活動：写真部，ソフトテニス部
・ご挨拶：旭川北高等学校より赴任してきました。新たな出会いにワクワクの毎日です。勉強・部活と忙しい日々を送る生徒に、少しでも力になれるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

◇中川　繁樹　事務長（札幌南高校より赴任）
・ご挨拶：札幌南高校から赴任して参りました。新型コロナウイルスの影響で、生徒の活動も制限されている状況ですが、保護者の皆様のご協力や町のご支援をいただきながら、本校生徒のために微力ではありますが努力して参ります。